

プログラム

受付の開始 (8 : 30~)

開会の挨拶 (9 : 00~9 : 10)

日本薬史学会 2023 年会長 土岐隆信
日本薬史学会会長 森本和滋

一般口頭発表 1 (0-01~0-04) 海外との関わりの歴史 (9 : 10~10 : 05)

座長 木下 浩 (岡山県立博物館)
松崎桂一 (日本大学薬学部)

0-01 徐福伝説紀行 (『大塚薬報』2022 年 10 月号より)

石田純郎
(福山市 中国労働衛生協会)

0-02 植民地朝鮮の薬業新聞『京城薬報』について

辻 大和
(横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院)

0-03 フリードリッヒ II 世の医薬法—メルフィー憲法とその追補 第 5 報

辰野美紀
(順天堂大学医学部医史学研究室)

0-04 薬科学者 J. トロムスドルフと企業家 E. メルクについて

中辻慎一
(兵庫県立大学名誉教授)

特別講演 I (10 : 05~11 : 05)

座長 村岡 修 (常任理事, 近畿大学名誉教授)

大阪道修町における香料取扱いの歴史と塩野香料

塩野秀作
(塩野香料株式会社 代表取締役会長)

一般口頭発表 2 (0-05~0-08) 薬学教育に関わる歴史 (11 : 05~12 : 00)

座長 五位野政彦 (東京海道病院薬剤科)
日向昌司 (国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部)

0-05 明治 10 年前後の京都における薬学教育—京都私立独逸学校設立の背景—

鈴木栄樹
(京都薬科大学名誉教授, 京都薬科大学京薬会 愛学躬行歴史資料室長)

0-06 我が国の義務教育における「薬の正しい使い方」教育の経緯と歴史的考察

○江戸清人¹, 安藤崇仁²
(¹ 仙台医健・スポーツ専門学校, ² 帝京大学薬学部)

0-07 薬学教育の変遷 (2) — 薬剤師国家試験と職能評価 (医薬分業) —
○竹内幸一¹, 伊藤淳雄², 村田正弘³
(¹ 明治薬科大学, ² 茅ヶ崎新北陵病院薬剤部, ³ 日本 GE・BS 学会)

0-08 薬学雑誌を支えた戦前の情報誌『日本薬報』の役割
○小清水敏昌¹, 山内 盛²
(¹ 順天堂大学医学部医史学研究室, ² (公社) 東京生薬協会)

昼休み休憩 (食事) (12:00~13:10)

理事会・評議委員会 (12:05~13:05)

特別講演Ⅱ (13:10~14:10)

座長 船山信次 (副会長, 日本薬科大学薬学部)

諸学問の源泉 津山の蘭学: 宇田川家三代と箕作家一族を中心に
下山純正
(津山洋学資料館 名誉館長)

一般口頭発表 3 (0-09~0-15) 薬学の発展に関わった人々 (14:10~15:45)
座長 桐原正之 (静岡理工科大学理工学部)
小清水敏昌 (順天堂大学医学部)

0-09 内山充先生の遺された思いと言葉を探る (その2) NIHS から CPC まで: 使命感と責任
感の醸成の視点から
森本和滋
(国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) 生物薬品部)

0-10 星田千代雄の記録—明治時代の大大分県で近代病院薬学を实践した人物—
五位野政彦
(東京海道病院 薬剤科)

0-11 緒方洪庵著「適々齋薬室膠柱方」の写本間比較とその意義・特徴
○高浦 (島田) 佳代子^{1, 2}, 高橋京子^{2, 3}, 遠藤雄一¹
(¹ 近畿大学薬学部, ² 大阪大学適塾記念センター, ³ 大阪大学総合学術博物館)

0-12 林源十郎商店の企業家活動—10代および11代当主を中心に—
安土昌一郎
(立教大学経済学部)

0-13 岡山県瀬戸内市・平井家所蔵『錢氏白朮散加減之法』について
—岡山県下の小児医療における地域交流、松原家との関係—
○鈴木達彦¹, 木下 浩²
(¹ 帝京平成大学薬学部, ² 岡山県立博物館)

0-14 丹波敬三のドイツ留学時代における史料の発見とその調査
高際麻奈未
(東京薬科大学史料館)

0-15 売薬製造販売業者ホロウェイ夫妻の事績（下）—ホロウェイ・サナトリウムの創設—
柳澤波香
（津田塾大学，青山学院大学）

一般ポスター発表（P-01～P-03）（15：45～16：15）

P-01 正倉院治葛：三斤三両増の謎についての一考察
船山信次
（日本薬科大学薬学部）

P-02 澤野医院記念館に残された医薬品・医療器具の調査研究
北川真子¹，伊久美秀真¹，鎮守雅智¹，鈴木 陸¹，ZHONG ZIHAO¹，森島駿太¹，
小松龍遊雅¹，市川恵介¹，原田結衣菜¹，細川貴弘¹，小栗勝也²，○桐原正之¹
（¹ 静岡理工科大学理工学部，² 静岡理工科大学情報学部）

P-03 マルクス・アウレリウスの『自省録』にみる神谷美恵子の『生きがいについて』—「葛藤」から「生きがい」へ—
○宮崎啓一¹，吉田和幸²，村岡 修^{1, 3}
（¹ 三栄化工株式会社，² 医療法人岩尾会東京海道病院，³ 近畿大学名誉教授）

一般口頭発表 4（0-16～0-22） 薬や医療に関わる歴史（16：15～17：50）
座長 安土昌一郎（立教大学経済学部）
但野恭一（株式会社ニューリンクジャパン）

0-16 佐渡の宿根木地区で製造・販売された「帰命丹」
西原正和
（奈良県薬事研究センター）

0-17 和種薄荷の歴史
○小林孝也¹，柴田有里¹
（¹ 長岡実業株式会社 技術部）

0-18 光後玉江の処方録から見る明治期の薬の処方
木下 浩
（岡山県立博物館学芸員，岡山大学医学部医学資料室室長補佐）

0-19 ペニシリンの開発とわが国での製造—学術記事と新聞記事の紹介—
木村 丹
（岡山県早島町 木村医院）

0-20 日本におけるコラーゲンの医療に関わる研究経緯と医療機器の50年の変遷
○荒井裕美子¹，小倉孝之²，山本卓司³，松本和男⁴
（¹（一財）日本医薬情報センター，² 株式会社ニッピ，³ 株式会社マトリクソーム，
⁴ 日本薬史学会）

0-21 抗がん剤のあゆみ—内藤記念くすり博物館における企画展図録のための調査まとめ
○稲垣裕美，森本真央，立松和晃，森田 宏
（内藤記念くすり博物館）

0-22 後発品産業をめぐる供給不安の要因と今後の対応について
但野恭一
(NuLink Co.Ltd., Japan, 日本薬史学会国際委員会)

次年度年会長の挨拶 (17:50~17:55)

日本薬史学会 2024 年会長 厚味厳一

閉会の挨拶 (17:55~18:00)

日本薬史学会 2023 年副会長 洲崎悦子

懇親会 (18:15~20:15)